

第2回 三木市スポーツ振興計画策定委員会議事録

1 開会日程

- (1) 開 会 令和3年10月6日(木) 午後6時30分
- (2) 閉 会 令和3年10月6日(木) 午後8時

2 場 所 市役所 5階大会議室

3 委員委嘱配布

4 委員長及び副委員長選出

5 議 題

(1) 協議事項

- ア 三木市スポーツ振興計画(素案)について
- イ その他

6 出 席 者

- (1) 委 員 松井 幸太、富依 多雅蔵、山内 基行、富田 進、坂田 直裕、北上 亜矢子
織戸 弘行、奥野 敬子、稲見 臣二、寒者 恵、岸井 義明
- (2) 事務局 本岡 忠明教育総務部長、金井 善純文化・スポーツ課長、村田政宜

7 公開・非公開の別 公 開

8 傍聴人の数 0 人

1 開 会

2 委嘱状配布

3 委員長及び副委員長選出

4 協議事項

- ア 三木市スポーツ振興計画(素案)について
(事務局から報告)

[委員]

障がい者スポーツの推進を考える上で、障がい者スポーツ団体数など現況を把握することが重要であり、連絡会や指導者の養成などの機会創出も必要ではないか。また、市内で活動されている団体等の活動内容を共有し、行政支援も含めた形で市民と共に推進できる体制づくりも急務だと思う。

[委員]

現在は新型コロナウイルス感染防止の観点からできないであろうが、コミュニティセンターなどの施設で健常者と障がい者の方が一緒に活動していく機運はあるのか。

[委員]

県立三木山森林公園での高齢者ラジオ体操グループなど、市施設以外での活動や体育協会に加盟していないグループが多数あり、把握に努めるべきではないか。

また、第3期三木市教育振興基本計画には記載のあったみつきいふれあいマラソン参加者の数値目標を、振興計画でも記載すべきではないか。

[事務局]

関係所管課である健康福祉部の関係課とも連携し、現状の把握に努めていく。また、みつきいふれあいマラソンの数値目標は記載する。

[委員]

ブラインドサッカーや車いすバスケットボールなど障がいの有無に関係なく参加できるスポーツもあり、障がい者スポーツを別の表現にした方が良いのではないか。

[委員]

精神障がい者の方は、一緒にスポーツを行うことが困難な場合もあり、そういった方にも配慮した内容を考えていただきたい。

[委員]

基本方針の1つである“する”“観る”“支える”スポーツの推進について、「観る」と漢字表記されているが、上位計画である第3期三木市教育振興基本計画に倣い漢字表記とするのか。

[委員]

コロナ禍でもあり、集まってすることだけが重要なのではなく、ネットワークを推進する方針も必要ではないか。

[事務局]

上位計画に倣い、漢字表記のままを進めていきたいと考えている。ネットワークの推進については、オンラインマラソンなどが想定されるが、効果等の検証がなされておらず、今後の課題として認識している。

[委員]

コロナ禍における責任の所在は、どのようになっているのか。

[委員]

配慮はしているであろうが、体温チェックなどの対処しかなく、限界があるのではないか。

[委員]

今後の感染状況については先行きが不透明であり、イベント等では三密回避だけではなく、ワクチンの接種済証の提示など考える必要があるのではないか。

[委員]

市内の公民館には、様々な指導者の方が活動されているが、三木市だけ活動に制限があると聞いている。

[事務局]

種目によってガイドラインに従っているが、その判断や決定については連盟・種目団体に委ねている。来年度以降については、感染状況も踏まえながら集いやふれあいを実施していければと考えている。

[委員]

コロナ禍における近畿や全国といった上位大会につながる大会について、開催する場合でも、家庭内感染防止の観点から全て無観客とすべきか否か議論する必要があるのではないか。

[委員]

小中学校の統廃合により、子どもの遊び場やグラウンドゴルフ等の場所が減ってきており、関係団体に聞き取りを行ってほしい。

[委員]

「観る」スポーツについては、SNS等を活用したリアルタイム配信などを検討していただきたい。

[事務局]

本日いただいた意見にできる限り沿った素案を作成し、次回開催前には送付する予定であるので、それに対する意見等も事前に頂戴できれば、加筆修正の上、第3回策定委員会を迎えたいと思う。

9 閉 会